

令和２年度 長野県総合教育センター評議員会 開催要項

1 期日・会場 令和２年 10 月 5 日(月) 生涯学習推進センター研修室

2 日 程

- (1) 研修講座・生徒実習・施設の視察見学
- (2) 評議員会 [生涯学習研修室]

開 会

① 座長選出

② 説明・報告

ア 令和２年度長野県総合教育センター 組織・機構 事業の重点
イ 研修事業

- ・長野県教員育成指標に基づいた研修
- ・令和元年度～令和２年度 研修講座実施状況
- ・令和２年度 研修講座の概要
- ・研修講座のふりかえり(受講者アンケート)集計結果
- ・「教職員研修会サポート」の概要
- ・指定研修の概要
- ・先端技術研修の概要

ウ 生徒実習事業

- ・生徒実習事業

エ 研究調査事業

- ・研究調査事業の概要

オ 教育情報事業

- ・ホームページのコンテンツ (学びの広場)
- ・長野県視聴覚ライブラリー

カ 教育相談事業

- ・教育相談の概要

③ 評 議

- ・長野県総合教育センターの事業について
- ・長野県総合教育センターに期待すること
- ・その他

閉 会

3 出席評議員(敬称略)

卷山 圭一	長野県高等学校長会 副会長
麻田 正明	長野県特別支援学校校長会 中信地区代表
大内 勝	長野県国公立幼稚園長会 会長
下村 孝之	長野県高等学校PTA連合会 副会長
坂口 昌夫	長野県市町村教育委員会連絡協議会 会長
赤津 勝広	塩尻市中央公民館 館長
栗倉 梅代	塩尻商工会議所 女性会 会長
香山 瑞恵	信州大学工学部電子情報システム工学科 教授
神津 利信	信濃教育会教育研究所 部長
伊藤 かおる	株式会社コミュニケーションズ・アイ 代表取締役社長
高山 雪	松本大学教育学部教職センター 講師

令和2年度 長野県総合教育センター評議員会 評議要旨 (令和2年10月5日実施)

次のような点について、ご質問やご意見をいただきました。
今後の事業運営および研修講座づくりに反映させて参ります。

○研修事業全般について

- ・コロナの状況の中で、教える側も学ぶ側も、今までとは違った形の活動が必要になってきたと思う。
それに関係する研修は今年度展開されてきたか。
(回答) 一部の講座では、教材の中に zoom 等の使い方を入れる、授業動画を取ってみる、スマホを実用的に使うなどの内容を取り入れた。
- ・新しい学び、教えるの形を模索していくよい機会になったのではないかと思う。
- ・オンライン研修と参集研修との住み分けを検討してみるのには大切ではないか。
(回答) 次年度以降検討する。
- ・教育というのは子どもと一堂に会してやっていく、集団の中で互いに協働学習するということが望まれる。しかし一方で情報教育やオンラインも必要である。このような中でセンターの役割はさらに重要になってくると思う。丁寧に検討や協議をしてもらい、県下の学校に発信し、先生方の研修に資してほしい。
- ・コロナ禍で新しい様式が必要となっている。今後、感染予防に努めながら工夫して、オンライン研修と参集研修の両面から充実を図ってほしい。

○教職員研修会サポートについて

- ・教職員研修会サポートは学校の希望があれば訪問できるのか。
(回答) 申込みの際に希望があれば実施する。講座の内容が学校現場にきちんと定着するように工夫している。
- ・教職員研修会サポートは本当に魅力的だと感じた。

○教員育成指標について

- ・教員育成指標は、先生方がどう自分の資質を高めていくかを考えて仕事をしていくか、どう子どもたちのことを育てていくかということを考えていくいいヒントになると思う。

○大学連携について

- ・連携講座における成果や課題があれば教えてほしい。
(回答) 受講者の中にも大学の先生方にお会いして話を聞きたいというニーズが高まっている。
今後ますますニーズが高まることが考えられるので、内容等も工夫していく必要がある。
- ・連携講座は昨年度より受講される方が多いので、やはり魅力があるのだろうと思った。
- ・大学とのつなぎ役になってもらって、オンラインを長野県全体にうまく広げていってほしい。

○幼保小の連携について

- ・小中の連携、中高の連携はとても考えられていると思うが、幼保小の連携はどうか。
(回答) 幼保小の連携も非常に重要である。特に小学校スタートにおける学級づくりは非常に重要だと感じた。工夫や検討ができればと思う。

○その他の事業について

- ・学校現場では、自校がどういう ICT 環境にあるかということを先生方が把握できていないこと、先生方が自分たちでオンラインの環境を作らないといけないこと、その環境を作るときに生徒が BYOD にアクセスできるかどうかということ、先生方がどのように教材を作るかという課題がある。
- ・実際 1 時間の授業をオンラインでやる場合に、それを効果的に進めていくカリキュラム設定なども検討してほしい。
- ・オンラインの効果的な活用についての研究を進めてほしい。
- ・コロナ禍の中で大変だったと思う。本日は受講者が和気あいあいと研修している姿を見てほっとした。